



＜小学6年生～高校生対象＞

小集団ソーシャルスキルトレーニング

このプログラムは、思春期のお子さんとその保護者を対象に、学校生活や社会生活に必要なソーシャルスキルを意欲的に学べるトレーニング（SST）です。お子さんと保護者が一緒に、ワークシートを活用しながらスキルの習得を目指します。SST に特化したボードゲームで楽しく遊ぶ時間も設けます。親子で楽しみながら学ぶ場としていただければと思います。

【プログラム日程・内容】

	日時	会場	内容
①	R5年7月10日（月）	A	あいさつのスキル『人の心と心をつなぐ架け橋に』
②	7月24日（月）	B	自己紹介のスキル『初対面でも仲良くなれるきっかけを』
③	7月31日（月）	A	話すスキル『伝えよう、心から』
④	8月14日（月）	A	聴くスキル『相手に関心をもって』
⑤	8月28日（月）	B	感情を理解するスキル『複雑な感情に気づく』
⑥	9月11日（月）	A	感情をコントロールするスキル『怒りの下にある気持ちとは』
⑦	9月25日（月）	B	あたたかい言葉をかけるスキル『自分がうれしいことをしてみたら』
⑧	10月16日（月）	B	質問するスキル『ちょっとした勇気が大きな学びに』
⑨	10月23日（月）	A	やさしく頼むスキル『助けを借りたい時もある』
⑩	11月13日（月）	A	謝るスキル『まごころを伝えるために』
⑪	11月27日（月）	A	上手に断るスキル『相手を傷つけない意思表示とは』
⑫	12月11日（月）	A	立ち止まって考えるスキル『ケアレスミスを防ぐには』
⑬	12月25日（月）	A	SNSによるコミュニケーションスキル『仲良しているために』
⑭	R6年1月15日（月）	B	自尊心を高めるスキル『イケてる自分を発見できる』
⑮	1月22日（月）	A	異性と上手にかかわるスキル『違うからこそ互いに思いやる』
⑯	1月29日（月）	A	計画を実行するスキル『目的を達成するために』
⑰	2月19日（月）	B	問題解決のスキル『いろいろな問題に落ち着いて対応するために』
⑱	2月26日（月）	A	ストレスに対応するスキル『自分の心と身体の関係とは』

【場所・時間】 市民フラザたけふ（アル・フラザ武生）3F A：大会議室1 / B：中会議室1
16：00～17：30

【対象】 ・越前市内にお住まいの小学6年生～高校3年生までのお子さんとその保護者
・受給者証をお持ちの方 ・全18回中、6回以上の参加が可能な方

【定員】 各回6家族まで

【利用者負担額】 1回につき395円（国の基準に基づく金額です）

【プログラムの流れ】(①あいさつのスキル『人の心と心をつなぐ架け橋に』を例に)

<導入>

◎講座のルールの確認(毎回共通)

- ・ じゃましない
- ・ はすかしがらない
- ・ ひやかさない
- ・ 積極的に参加する
- ・ グループでの話し合いを大切にする

<展開>

- ◎なぜあいさつをするのか・・・子ども、保護者が考え、意見を出し合います。
- ◎あいさつのポイントは?・・・声、表情、態度など、気持ちのよいあいさつのポイントを出し合います。
- ◎相手が気持ちよくなるあいさつ、自分が気持ちよくなるあいさつについて、職員の経験談を聞きます。
- ◎ロールプレイ・・・良い例と悪い例を比べて、意見を出し合います。
- ◎グループで練習&振り返り・・・「生徒役」「先生役」「観察者」の役を決めて交代しながら実践し、振り返りを行います。

<まとめ>

- ◎職員からの振り返り・・・あいさつの良さや大切さを再確認し、今後の生活にも活かせるように話します。
- ◎振り返りシートの記入
- ◎親子でチャレンジシート(自主的宿題)の説明

<ボードゲーム>

◎フレンドシップアドベンチャー(表面右上の写真。以下、概要の説明です)

自分らしさに気づき、自信をもって友達付き合いができるようになるために開発されたゲームです。日常的に体験しているようなトラブルを、「授業中」「休み時間」「クラブ活動」「登下校」「休日」の5場面、200枚のカードにしてあります。場面を島と見立て、5つの島を冒険してカードの内容を仲間と相談してクリアしていきながら、トラブル解決についてのソーシャルスキルが学べるように組み立てられています。ゲームを通して、自己理解や他者理解が促進されていくことがねらいとなっています。正解を覚えるのではなく、「これをやったらどうなるんだろう?」という創造や考えることを目的としたゲームです。

プログラムご利用の流れ

- ① 相談・・・お子さんの特性をうかがい、本人に有益なスキルなどを一緒に考えます。
- ② 通所支援の説明・・・通所に関することやプログラム内容などの説明をします。
- ③ 通所支援の開始・・・市と利用児保護者と契約を締結し、利用開始します。

※ 最初の相談から利用開始まで、お手続きが必要となるために1か月程度かかります。

※ お手続きや計画の作成については、センター内相談支援室の相談支援専門員が保護者の依頼に基づきお受けいたします。

※ 興味のある方は、お気軽に下記のメールアドレスまたは電話にてお問合せください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室

メールアドレス：nanairo@hotreha.com

電話：0778-43-5017(担当：前田)